

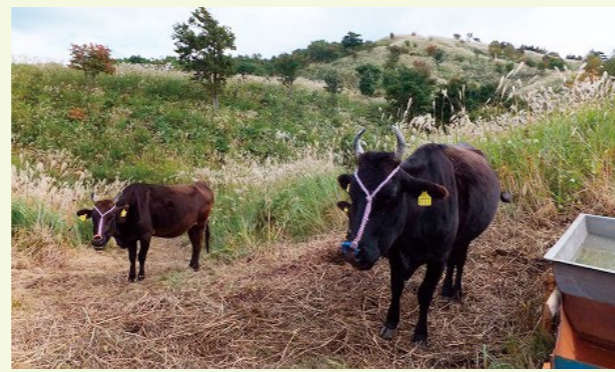
みどころいっぱい上山高原

① 小さな火山「上山」



上山は、かつての火山活動でできた火山(スコリア丘)です(下段のコラム参照)。現在は表面が削られ、原形をとどめていませんが、お茶碗を伏せたような上に凸の地形は当時の火山の形を偲ばせます。山全体がススキに覆われており、山頂までは何筋かの遊歩道が続いており、高原の風を感じながらの散策は最高です。山頂からの眺望もおおすすめです。

② ススキ草原の放牧地



溶岩でできた高原に、ススキ草原が広がっています。芽吹きの春、深緑と青空の夏、黄金の秋、白銀の冬と、四季を通じて美しい表情を見せてくれます。夏の間は但馬牛(たじまうし)の放牧も行われており、毛並みの良い立派な牛がのんびり草をはむ風景を楽しむことができます。

③ 高原からの眺望



眼下に山並みと日本海を眺めることができ、山陰海岸ジオパークが山と海が隣接した場所だということを実感できます。恐竜が大陸を闊歩していた時代には、日本海はありませんでした。それが割れて海ができたのです。大地の動きはとてつもなくダイナミックですね。夕方、西に沈む太陽と海の輝きはとても感動的です。

④ ショウブ池



広葉樹に囲まれた静かな水面は、周囲の風景を反映し、表情豊かな四季の変化を見せてくれます。この池は、農業用水用のために作られた池で、安定して水を得るため作られました。現在は、トンボなどが集まる野生の生き物にとっても憩いの場になっています。

⑤ ブナの森



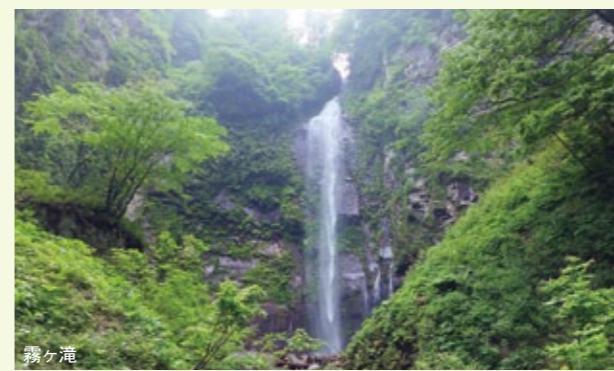
扇ノ山周辺や上山高原周辺には豊かなブナやミズナラの森が広がっています。扇ノ山へ続く登山道両側にもみずみずしいブナの森が広がり、登山者を癒してくれます。ここには多種多様な生き物が生息しており、運が良ければかわいい森の生き物たちに出会えるかもしれません。

番外a：小又川溪谷



急峻な断崖からなっており、珍しい形の瀑布などが数多く見られるため、兵庫県の名勝に指定されています。シワガラの滝は、侵食されてできた洞窟に滝が流れ落ちており、洞窟内から滝を鑑賞することができます。他に桂の滝、布滝、魚止めの滝などがあります。カツラの木、タジマタムラソウ、ナガエノアザミ、ザゼンソウ群落など豊かな自然が残されています。

番外b：霧ヶ滝溪谷



上山高原の末端部、標高750mに位置する、高さ65m幅45mの滝です。滝は、下部の地層を覆う厚さ20mの扇ノ山の溶岩の上から水が流れ落ちます。落水は途中で飛散し霧状となるためこの名がついたといわれています。昨今秘境の滝として注目されています。

番外c：扇ノ山

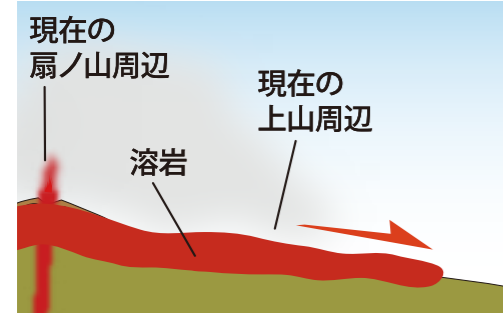


鳥取県と兵庫県の県境に位置する標高1309.9mの火山で、山頂は鳥取県にあります。山体は120万～40万年前に噴出した玄武岩や安山岩の溶岩流から構成されています。全国的に珍しくなったブナの自然林が残っていて、多種多様な動植物が生息しています。晴れの日には、頂上からは遠く大山や湖山池、鳥取市街、日本海を望むことができます。

ジオコラム①

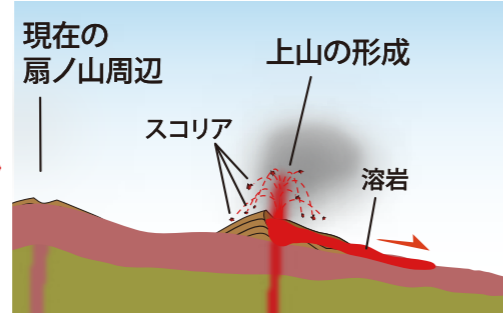
上山はどうやってできたの? ～溶岩でできている上山高原とスコリア丘「上山」～

① 上山高原周辺を溶岩が覆った



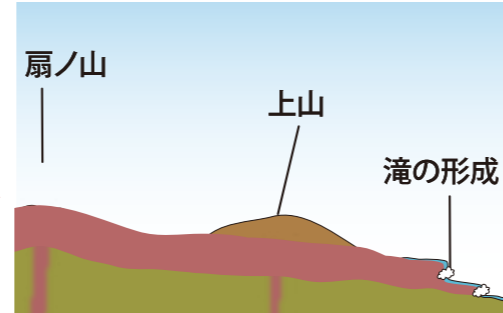
扇ノ山周辺で火山活動が起きました。たくさんの溶岩が上山高原一帯まで流れ、やがて冷えて固まりました。こうして、上山高原一帯は厚い溶岩で覆われました。

② 溶岩の上にスコリア丘ができた



上山がある場所で噴火が始まりました。飛び散ったマグマが冷えて固まった“スコリア”が火口の周りに降り積もり、スコリアでできた丘“上山”を作りました。上山から流れ出た溶岩もまた周辺を覆いました。

③ 地面が風雨などにより削られた



風雨などで地面が削られ、現在の地形ができあがりました。川は大地を削り、溪谷や滝ができました。

クイズの答え 海上傘踊(うみがみかさおどり) ※詳しくは地元の人に聞いてみよう!

ジオコラム②

上山高原のススキ草原

自然性の高いブナ林と違い、ススキ草原は人の営みの中で育まれました。それが、採草や放牧が行われなくなり、人の手が入らなくなったことで、笹が密集した草地へと変わりました。現在、ススキ草原を後世に残すため、手刈りや火入れ・牛の放牧を行うとともに、笹・ススキを飼料として活用するなど、持続的に人と自然が関わりをもちながら再生していく手法が実施されています。



ススキ草原の火入れ

ジオコラム③

豊かなブナの森

ブナの原生林には多種多様な生き物が暮らしています。シカやテン、ウサギ、イノシシ、タヌキのほか、上山高原では、オオルリ、コゲラ、ヤマガラ、イヌワシ、ツキノワグマなども生息しています。昭和30年頃、杉の植林等により奥山の豊かな生態系は徐々に失われてきましたが、現在は地域住民などが中心となって自然再生への様々な取り組みを進めています。



残雪のブナ林でハイキング